



1年学年だより

発行日：令和2年10月30日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 5

◆◇安心・安全な登下校を目指して◇◆

南高校附属中学校の生徒は、横浜市全域を学区としてさまざまな方面から通学しています。南高校へのアクセスは、最寄りの駅からバスを利用したり、交通量の多い道を歩いたり、閑静な住宅街を歩いたりしています。

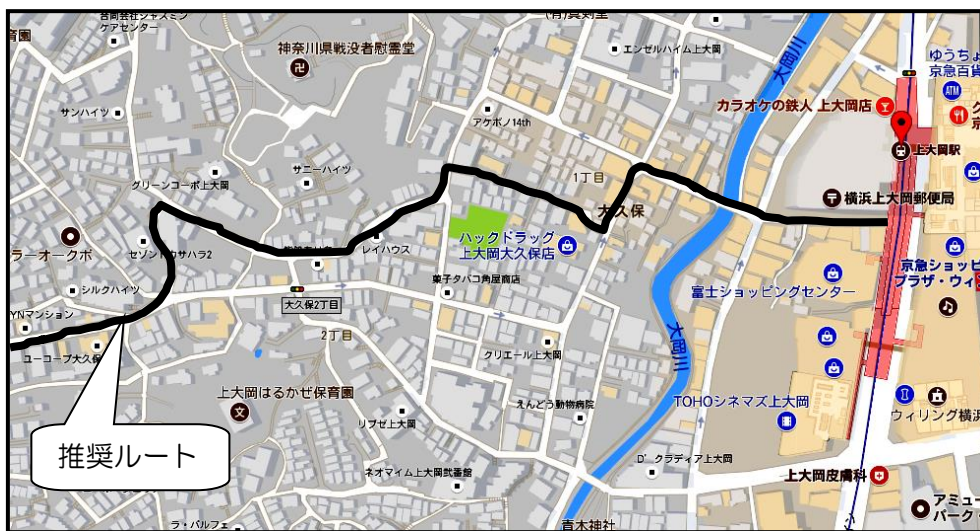
附属中学生と南高生約1000人が毎日安全に登下校できることが一番に求められると同時に、地域の方々の安全も求められます。附属中学校と南高校が地域の方々に信頼していただける学校に成長していくためには、附属中生一人ひとりの責任ある行動が欠かせません。交通ルールを守り、マナーよく登下校することは当然のことであり、さらに地域の方々への心遣いのある行動がとれることを期待しています。

中高職員がともに定期的に下校指導を行っています。ご家庭でもぜひ話題にしていきたいと思います。

○駅までの道を歩く場合、歩道を広げずに、大きなかばんは自分の体の前にして自分の横幅を広げない。すれ違う人に、自分から道を譲りましょう。

○バスを利用する場合、リュックを前に抱えて乗り、多くの人が乗れるようにステップの奥までつめる。バス停での列に附属中学生が多いときは、地域の方に順番を譲りましょう。

○上大岡方面の大久保町バス停付近で、以前たいへんいたましい事故が起きました。この事故を受けて、地域の方々も中高生の通行を見守ってくださっています。しかし、この付近は車の交通量と、通行する生徒の数と、狭い道幅とが見合っていない現実もあります。右の地図に示す『推奨ルート』をなるべく歩きましょう。



また、この『推奨ルート』は地域の方々も通勤や通学のために附属中学生の登下校とは逆の流れで、大勢通行していらっしゃいます。『推奨ルート』とはいえ、附属中学校専用道路ではありません。すれ違う方々も附属中生も安全に通行できるよう、気を配りましょう。

○上永谷方面では、住宅街の中の広い道を歩きましょう。勸永公園を横断する道は、通行する人が少なく、毎年不審者情報が学校に寄せられています。この勸永公園を横断する道は使わないでください。

上永谷駅方面は、道幅が広く歩きやすいと同時に、それは周りへの配慮に欠けた行動につながりやすい側面ももっています。改札口を出てすぐの所での待ち合わせは、通行する方々の妨げになります。駅前広場、歩道橋、歩道ゾーン等も、誰もが気持ちよく歩けるよう気を配りましょう。

○附属中学校では10月から下校時間が30分早まり、5:30完全下校になりました。暗くなるのが早くなりましたので、生徒の皆さんはできるだけ明るく人通りの多い道を通りましょう。登下校中や塾帰りに犯罪被害にあう事案が発生しています。お子さんを犯罪被害から守るために、ご家庭でもよく話し合っていたいただきたいと思います。本校では、貸出し用防犯ブザーを用意しています。防犯ブザーを学校に持ってくるのを忘れて、下校時刻が予定より遅くなったりした場合など、必要なときには中学職員まで伝えてください。

笑顔がいっぱい！ PAA in 南高

15日(木)に、待ちに待ったPAA in 南高が行われました。10月に行くこと、南高校で行うことなど、変更に変更を重ね、コロナ感染予防対策も十分に検討しながらの開催でしたが、9期生の元気な歓声や笑い声、あふれる笑顔に大成功の確信が得られました。

「本気で、みんなで、安全に、話す、聞く」の5つの約束を守りながら、ビー玉運びや平均台上の並び替え、長縄くぐりなどいくつかの課題にチャレンジしました。伝えて、聞いて、話しあって、課題をクリアした時の爽快な達成感はもちろん、挑戦したのに失敗してしまったもやもやの中にも、大切なメッセージがたくさん隠されていました。「楽しかった！」「もっとやりたい！」の言葉に、9期生のかげがいのない成長を感じています。ずっと忘れることのない1日になることでしょう。

今回の実施に向けて全校の先生方、先輩方が協力してくださったことも、どうぞ覚えておいてください。自分たちが支えられていることに気づき、次に、誰かのために力になれる、そんな9期生に育っていくことを期待しています！

PAA in 南高 ～マスクがないのは、この瞬間だけ！～



1組：まず感じたことはみんないつもより楽しそうにしていたことです！普段静かそうな子も楽しそうで「こんな一面もあるんだ！」と感じました。励まし合ったり、前向きな言葉をかけたりして、チームとして一つになったんじゃないかなと思います。これからも前向きな言葉をかけあって一つのチームとして高め合えるクラスにしていきたいです。

1組：午前のビー玉を缶に入れる遊びは、みんな意見を言いすぎていて、誰が何を言っているのかがわからず、話し合いが進まないことがあった。やっていくうちに、みんなが個人の意見を大切にしていけるようになった。誰かが失敗してもマイナス発言せずに、声かけができたからよかった。クラスメイトとの仲も今まで以上に深まったと思う。

2組：最も大変だったのは平均台の上で、出されたお題の通りに、降りずに並び替える活動だ。最初はお題に対して何も話し合わずに活動し、ゴールが見えていなかった。途中やまとおさんに「みんなはゴールが見えていないのにゴールを目指していたわけ？」と言われて、改めて、協力してゴールを見据えることの大切さに気付くことができた。

2組：PAAの楽しさは、本当に自分たちで作るのだと思う。今考えると、必要だったのは少しの道具と仲間、それだけで楽しめることに2組の力に驚いた。今まで楽しかったことは、自分が楽しければ正直他のことは見ていなかった(言い方は悪いが)。でも今回は周りが楽しめているかを初めて見ることができた。今までの楽しさと一味違った。

3組: 〇〇〇 あるゲームで、一人で自分のことばかり考えてしまって、私のせいで失敗してしまった。本当に申し訳なかったし、自信をなくしてしまった。でも、みんながもう一度チャレンジすると決めて、もう一度できるようになり、どういうことを意識すればよいのかよくわかった。私に足りなかったのは、クラスの一員だという意識だ。この意識を忘れない。

3組: 〇〇〇 一番楽しかったのは最後の平均台の上で誕生日順に並び替える遊びだ。失敗してしまったけれど、Beingに書いたことを意識して、その日の集大成を見せることができたと思います。「聞く」ということが、集団で何かをする時にすごく重要だと思いました。

4組: 〇〇〇 話しあったり、励まし合ったり、時には注意したりと、1年4組の本気を知ったような気がした。もっとも一人ひとりが輝けるクラスにしたい。そのためには自分が着火マン(自ら動く人)になりたいです。一人ひとりが輝けるとは、その人の才能を見せつけるようなことではなく、一人ひとりの意見や考え方を発表しやすくすることです。

4組: 〇〇〇 今までPAAは「知らない友だち」と行うから楽しいのだと思っていた。だがそうではないことを実感した。現段階で仲が良いクラスが、PAAを通して団結力が一気に高まったような気がした。特にマットの上を歩いて名前順に移動するゲームで、普段あまり話さない子と「手」も「心」もつながって楽しめたし、声をかけ合って協力できた。

雨にも負けず、体育祭も決行！

19日(月)午後、中学校体育祭が開催されました。9月当初は熱中症の危険を避けて延期されましたが、今回は冷たい雨に追われながらも、からくも無事、全種目やり遂げました！

延期期間にも各クラスでの大縄跳びの練習は続いていました。本番の、2組の298回を筆頭に、全クラスともクラス最高記録を更新できました！9期生、頑張りました！



表彰のお知らせ

青少年読書感想文コンクール横浜地区

○優秀賞・自由図書部

〇〇〇さん(4組)『自分なりの一歩で』

○優秀賞・課題図書部

〇〇〇さん(4組)

『戦争体験者の思いを未来へ』

夏休みに全員が取り組んだ読書感想文です。

おめでとう！

神無月の福袋

PAAに、体育祭、基礎力診断テスト(再試験も?!)など大きな行事が続き、とても忙しい10月でした。そんななかPAAで、チャレンジした成功の中にも、失敗の中にも成長の種が隠されていることに気づいた9期生。仲間とともに自分と相手の心も耕せることを知った9期生。一回り大きくなって、中学1年生の後半戦も、思い切ってたくさんチャレンジを楽しみましょう。